※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１１

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	音楽 Joy of Music（教育芸術社）						
副教材等	音楽の鑑賞と基礎学習						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■２年次に引き続き「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽や音楽文化を視聴すること」を年間通して学習します。
■学習の到達度は、実技テスト、筆記テスト、ワークシート、授業への取組みで評価します。
■音楽の授業では、ここぞという時に「音」に静かにじっくりと耳を傾けることを大切にしてください。そのことにより、作品の「良さ」や「美しさ」を真に感じることができると確信しています。
■高等学校を卒業してからも、音楽が、皆さんの生活を潤す一助となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。個人の演奏だけでなく、重奏・重唱を通じて他者のコミュニケーションをとりながら表現を深めていく姿勢を学ぶ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 創意工夫を生かした音楽表現をするため、歌唱、器楽の技能を身に付け、音楽を通じて、メッセージを伝えている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもち、音楽の良さ美しさを味わっている。	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ギターで弾き語りをしよう	【ギター弾き語り】 「スタンド・バイ・ミー」 G・Em・C・D など比較的簡単なギターコードで伴奏しながら歌う。	a:曲種に応じた音楽表現をするために必要な歌唱の技能(発声、リズム)を身に付け、創造的に表現している。 b:旋律、コードの音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するか、表現意図をもっている。 c:ギターの伴奏にのせて表情豊かに歌おうと主体的に取り組んでいる。	実技テスト	観察	観察
	詩が表す情景を思い浮かべて、言葉を大切に歌おう	【歌唱】 「水平線」	a:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 b:音楽が生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせて、どのように歌うか、表現意図をもっている。 c:言葉を大切にして歌う学習に主体的に取り組んでいる。	実技テスト	観察	観察
	ミュージカルの魅力を探ろう	【鑑賞】 「グレイテスト ショーマン」	a:登場人物の心情など声や楽器、身振りなどによってどのように表現されているか理解している。 b:楽曲や演奏の解釈と、価値の考察により、音楽の理解を深め、ミュージカルやこの作品の良さを味わっている。 c:ミュージカルの特徴、作品の文化的・歴史的背景に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組んでいる。	観察	ワークシート	観察

※令和４年度以降入学生用

	キーボード演奏ための基礎知識	・コードネームと和音のしくみ ・ハ長調の音階と和音	a:コード・和音のしくみを理解し、それを基に表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 b:和音の種類と機能、調性と和音の関係を知覚し、どのように音楽をつくるかに表現意図をもっている。 c:キーボードに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習を主体的に取り組んでいる。	筆記テスト	観察	観察
2学期	パートの役割を理解して重奏による響きを味わおう	【器楽】キーボード合奏 キーボードによるメロディーと伴奏パートとに分担して合奏体験に取り組む。	a:楽器の特色を生かした音楽表現をするために必要な技能(読譜、リズム、奏法、運指)を身に付けている。 b:曲調をを感受しながら、それを生かす演奏する表現意図をもっている。 c:他人の演奏と合わせるために聞きあい、コミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。	実技テスト	観察	観察
	クラッシックを鑑賞しよう	【鑑賞】 「カノン」 弦楽四重奏	a:音のイメージや作品の音楽構造や曲想の特徴を理解している。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽の良さや美しさを味わっている。 c:弦楽器の音色や旋律リズムの特徴に関心を持ち、鑑賞の学習に取り組んでいる。	観察	ワークシート	観察

※令和４年度以降入学生用

３学期	それぞれの得意分野を生かして、音楽発表会をしよう	【発表会】 ピアノ、キーボード、鉄琴、木琴、ドラム、等学校にある楽器を使用し、発表を行う。	a:楽器の音色を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能(読譜、リズム、奏法、運指)を身に付けている。 b:曲調を感受しながら、それを生かす演奏する表現意図をもっている。 c:自分の得意分野を生かして楽器を選択し、グループ発表に向けての練習および発表会に、主体的に取り組んでいる。	発表会	観察	観察 振り返りレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度